



2025年1月吉日

お客様各位

北興化学工業株式会社

## 新規園芸用殺菌剤「ガードマン<sup>かいりゅう</sup>快粒」の農薬登録取得について

2025年1月15日付で、北興化学工業株式会社の新しい製剤技術を活用した園芸用殺菌剤「ガードマン快粒」の農薬登録を取得いたしました。

ガードマン快粒は、有効成分として小麦の病害防除に実績のあるキャプタン（製品例：オーソサイド水和剤 80）とメトコナゾール（製品例：ワークアップ剤）を配合した園芸用殺菌剤で、その特長は以下のとおりです。

1. 新規の顆粒水和剤で薬剤調整時の粉立ちを大幅に減少
2. 赤かび病に対して被害粒抑制効果、毒素低減効果に優れる
3. ニバーレ菌による葉枯症の防除にも有効
4. 開花期散布で穂をきれいに仕上げる効果が期待できる

北興化学工業株式会社が開発した新しい顆粒水和剤「快粒」は、薬液調製時の粉立ちを従来の水和剤より大幅に抑制し、また従来よりも水に分散しやすい製剤です。農薬使用者の安全性への対応（使用者暴露の低減）や省力により日本の農業に貢献してまいります。

園芸用殺菌剤「ガードマン快粒」は2026年の上市を予定しています。  
上市日につきましては、改めてご案内させていただきます。

以上

### 【お問い合わせ先】

北興化学工業株式会社 企画部

電話 03-3279-5151

北興化学工業株式会社 営業部

電話 03-3279-5161

# 農薬登録情報

登録日 : 2025 年 1 月 15 日付

登録会社 : 北興産業株式会社

登録番号	農薬名	有効成分	
農林水産省登録 第 2 4 9 3 9 号	ガードマン快粒	キャプタン 40.0%	メトコナゾール 4.5%

人畜毒性 普通物 (毒劇物に該当しないものを指している通称)

## 適用内容

作物名	適用病害名	希釈 倍数	使用 液量	使用 時期	本剤の 使用回数	使用 方法
小麦	赤さび病 赤かび病 うどんこ病 黒変病	500~ 750 倍	60~150 L/10a	収穫 14 日 前まで	3 回以内	散布

キャプタン を含む農薬の総使用回数	メトコナゾール を含む農薬の総使用回数
4 回以内	3 回以内

農薬の使用上の注意事項 (人畜に有毒な農薬については、その旨、使用に際して講ずべき被害防止方法及び解毒方法を除く)

- (1) 使用量に合わせ秤量し、使いきること。
- (2) 散布液調製後はそのまま放置せず、できるだけ速やかに散布すること。
- (3) 所定の使用量を厳守すること。
- (4) ナス科作物、ウリ科作物、アブラナ科作物及びマメ科作物に薬害が生じる可能性があるため周辺作物への飛散に注意すること。
- (5) 蚕に対して影響を及ぼすおそれがあるので、養蚕で使用する桑葉にかからないようにすること。
- (6) 散布器具、作業衣は桑用と必ず区別すること。
- (7) 本剤の使用にあたっては使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合には病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。

## 人畜に有毒な農薬については、その旨、使用に際して講ずべき被害防止方法及び解毒方法

### (1) 人畜に有毒な農薬については、その旨及び解毒方法

#### ア 農薬使用者に係る注意事項

##### 1) 誤食などのないよう注意すること。

誤って飲み込んだ場合には吐き出させ、直ちに医師の手当を受けさせること。

##### 2) 本剤は眼に対して強い刺激性があるので眼に入らないよう注意すること。

眼に入った場合には直ちに十分に水洗し、眼科医の手当を受けること。

##### 3) 散布液調製時及び散布の際は保護眼鏡、農薬用マスク、手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用すること。

作業後は直ちに手足、顔などを石けんでよく洗い、洗眼・うがいをするとともに衣服を交換すること。

##### 4) 作業時に着用していた衣服等は他のものとは分けて洗濯すること。

##### 5) かぶれやすい体質の人は取扱いに十分注意すること。

### (2) 使用に際して講ずべき被害防止方法

該当なし

## 生活環境動植物に有毒な農薬については、その旨

(1) 水産動植物（魚類）に影響を及ぼすおそれがあるので、河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意して使用すること。

(2) 使用残りの薬液が生じないように調製を行い、使いきる。散布器具及び容器の洗浄水は、河川等に流さないこと。また、空袋等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理すること。

## 引火し、爆発し、又は皮膚を害する等の危険のある農薬については、その旨

通常の使用方法ではその該当がない。

## 農薬の貯蔵上の注意事項

直射日光をさけ、なるべく低温な場所に密封して保管すること。